

児童のみなさんへ

やりとりの相手、 本当に その写真の人物ですか



オンラインゲームや交流サイトなどで知り合った、同じ趣味の相手。ところで、その人の自己紹介は信用して大丈夫？

ウソの写真やウソの自己紹介を使う悪い人も

交流サイトやブログの多くには、書き手の自己紹介ページが付いています。そこに出ている顔写真や、性別、年齢、職業などをそのまま信じている人はいませんか。

残念なことに、世の中には、ウソの自己紹介を作ってしまう人もいます。本当はオジさんなのに、顔写真は検索で見つけた他人のものをコピーして、「21歳、スポーツが得意な大学生」などと名乗ることができてしまうのが、インターネットの怖いところの一つ。中には、本当は男の人なのにネット上では女の子のふりをしている人までいるようです。



信用できると思って会いに行ってみたら…

私たちはインターネットで知り合った見ず知らずの相手のほうが、周りには言えないような不満や悩みを打ち明けやすいと考えがちです。実際、何度か相談メッセージのやりとりをするうちに「信用できる人だ」と思い込んでしまい、会ってみたら、見た目も人柄も全く違う相手に怖いことをされてしまったという小学生もいます。

インターネットでは、相手の本当の姿は確かめられないということを、知っておきましょう。



保護者の方へ

子どもたちは、普段から「ウソをつくことはいけないこと」と教わり、相手のことを信用しがちです。また、インターネット上で知り合った相手にも、自分だけはダメされないと考えがちです。

しかし、子どもを狙って、年齢や職業、顔写真や性別に至るまで、偽りの自己紹介を作成する人も存在しています。また、インターネットのような機器ごしのやりとりでは、直接会うコミュニケーションと比べて、自分のことを相手に伝えすぎてしまうことや、相手の評価が高くなりがちなのが指摘されています。

誘い出しなどの被害の多くは、「ふつう」のサイト、サービスの利用がきっかけで起きています。日頃から子どものインターネット利用に対して適切な管理と利用状況の把握が大切です。